

塩ビ管切断面取り機300

品番 VPB-300

取扱説明書



目次

- ・安全上のご注意……………1～5
- ・各部の名称、仕様……………6
- ・作業を始める前に……………7
- ・機械の操作方法……………8～9
- ・保守点検、保管、修理について……………10

■はじめに

このたびはMCC塩ビ管切断面取り機300をお買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書には、塩ビ管切断面取り機300をご使用いただく際の注意事項および取扱方法と、簡単な手順方法について記載してあります。この取扱説明書を最後までよくお読みいただき、充分ご理解いただいた上で正しくご使用ください。なお、この取扱説明書は、いつでも取り出してお読みになれるようにお手元に大切に保管してください。



■安全上のご注意

●ご使用の前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。

この取扱説明書は、塩ビ管切断面取り機300を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。

お読みになった後は、塩ビ管切断面取り機300をご使用される方が、いつでも取り出してお読みになれるように保管しておいてください。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので、内容をよく理解してからお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、『 注意』に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも、安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守りください。

警告

- 1) ご使用される前に、取扱説明書を必ずよくお読みいただき、使い方を十分理解してください。
- 2) 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・取扱説明書に指定された目的、用途以外に使用したり、電動工具の能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 3) 無理な使用は、しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った作業をしてください。無理な作業は、電動工具の損傷を招くばかりでなく、事故の原因となります。
 - ・モーターがロックするような、無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- 4) 作業場は、いつも整理・整頓をして、きれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
 - ・作業場は、十分明るくしてください。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにして作業をしてください。
 - ・正しい姿勢で作業ができる安定した足場を必ず確保してください。転倒するなどしてケガをする恐れがあります。
- 6) きちんとした服装で作業してください。
 - ・袖口・裾の開いた服、だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は着用しないでください。作動部、回転部等に巻き込まれる恐れがあります。

- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物はケガの恐れがあります。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。作動部、回転部等に巻き込まれる恐れがあります。
 - ・軍手等、巻き込まれ易い物を使用しないでください。
- 7) 保護メガネを使用してください。
 - ・作業時は、保護メガネを必ず使用してください。
 - ・粉塵の多い作業場では、防塵マスクを併用してください。
 - 8) 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やケガの恐れがあります。
 - ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やケガの恐れがあります。
 - ・疲れている、病気や薬物の影響があるとき等、作業に集中できない場合は、使用しないでください。事故やケガの恐れがあります。
 - 9) 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・電動工具は、雨中で使用したり、湿気の多い場所、ぬれた場所で使用しないでください。湿気は、モーターの絶縁性を弱めたりして、感電事故のもととなります。
 - ・可燃物、可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。引火、爆発の恐れがあります。
 - 10) 作業関係者以外は、近づけないでください。
 - ・作業者以外には、電動工具や電源コードに触れさせたり、電動工具の操作をさせないでください。
 - ・作業者以外は、作業場へ近づけないでください。特に、子供には十分注意をしてください。ケガの原因になります。
 - 11) 感電に注意してください。
 - ・ぬれた手で差込プラグを扱わないでください。
 - ・電動工具の使用中は、身体をアースされている物に接触しないようにしてください。
 - ・雨中や電動工具の内部に水の入りやすい場所では、使用しないでください。
 - ・二重絶縁製品以外は、必ず接地（アース）してください。感電の恐れがあります。
 - 12) 電源コードは乱暴に扱わないでください。
 - ・電源コードを持って電動工具を運んだり、電源コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・電源コードを熱、油、角のものが当たった所に近づけないでください。
 - ・電源コードは、電動工具の下敷きにならないようにしてください。
 - ・電源コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
 - 13) 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。（延長コードは、電圧降下が起きないように、 2mm^2 以上で短い物を使用してください。）
 - 14) 調節や修理に用いた工具などは、必ず取り外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節や修理に用いた工具などが取り外してあるか確認してください。付けたまま作動させると、事故やケガの原因になります。
 - 15) 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・差込プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認し

てください。

- 16) 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物が確実に固定、保持されていることを確認して、作業をはじめてください。固定が不十分な場合は、事故やケガの原因になります。
- 17) 電動工具は、日頃から注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業して頂くために、常に点検・整備して、正常な状態を保ってください。
 - ・注油や付属品等の交換は、取扱説明書の指示に従ってください。ケガの恐れがあります。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
 - ・ハンドル等の握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。落下などによるケガの恐れがあります。
- 18) 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、差込プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・使用しないとき。
 - ・作業中に電動工具を移動するとき。
 - ・付属品を交換する場合。
 - ・点検、清掃をするとき。
 - ・その他危険が予想される場合。

差込プラグが電源コンセントに差し込まれたままだと、不意に作動して、ケガの原因になります。
- 19) 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・取扱説明書およびカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。事故やケガの原因となる恐れがあります。
- 20) 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・運転中に電動工具の調子が悪かったり、異常に気付いた時は、ただちにスイッチを切り、差込プラグを電源コンセントから抜いてください。症状を確認の上お買い求めの販売店または弊社営業所までご相談ください。
 - ・部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。異常作動してケガをする恐れがあります。
- 21) 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した適温の室内で、子供の手の届かない場所又はカギのかかる場所に保管して下さい。
- 22) 修理は専門店で依頼してください。
 - ・本機は、改造しないでください。安全性を損なうことがあります。
 - ・修理はお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
 - ・修理の知識や技能のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やケガの原因となります。

■塩ビ管切断面取り機300に関するご注意

警告

- 1) 特定の専門業者対象商品「プロ」用です。
- 2) 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、ケガの原因になります。
- 3) ホイールカバーを必ず取り付けて使用してください。
- 4) 使用中は確実に本体および握りを保持してください。
 - ・機体のはね返り、ケガの原因になります。
- 5) ダイヤモンドホイールは、指定されたもの以外は使用しないでください。
- 6) ダイヤモンドホイールは、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
 - ・新しいダイヤモンドホイールを取り付け、初めてスイッチを入れるときは回転面から一時体を避けてください。
- 7) 試運転を励行してください。
- 8) [事業者の方へ]
 - ・ダイヤモンドホイールの取替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
- 9) 回転中のダイヤモンドホイールに手や顔を近づけないでください。
- 10) 感電に注意してください。
 - ・管を切断する場合には、内部に残水などがいないことを確認してください。
- 11) 切断直後のダイヤモンドホイール・被切断材は高温になっていますので触らないでください。
- 12) 無理な使用はしないでください。
 - ・無理な切り込みは、ダイヤモンドホイールが破損したり、モータが発煙、発火などする恐れがあります。
 - ・連続して多数の切断を行なうなど、過酷な使い方はしないでください。
- 13) 長時間の連続使用はしないでください。
 - ・身体に振動障害が残る恐れがあります。
- 14) 塩ビ管切断面取り工具を毎日使用したり、騒音の激しい場所で使用する場合は、耳栓や耳あてを使用してください。
- 15) 周囲に騒音が漏れる恐れのある場合には、各条例に従い必要に応じて遮音板などを設置するなどして、騒音防止に努めてください。
- 16) 水、研削材などは使用しないでください。
- 17) 塩ビ管切断面取り工具を上向き、定置型にして使用しないでください。
- 18) 面取りをした際の研削粉は飛散します。
 - ・引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。
 - ・研削粉を直接手足などに当たらないようにしてください。
 - ・保護メガネ、防塵マスクなど保護具を着用してください。
- 19) コジリ・ジグザグ切断・曲線切断は絶対にしないでください。
- 20) スイッチを入れるときは、ダイヤモンドホイールが切断材やほかのものに接触していないことを確認してください。
 - ・機械本体が引っ張り戻されたりしてケガの原因になります。
- 21) 機械本体を作動させたまま床などに置かないでください。
 - ・使用後はスイッチを切って回転が確実に止まってから機械本体を置いてください。

- 22) 誤って落としたり、何かにぶつけたときはダイヤモンドホイールや機械本体に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形がある場合、そのまま使用されますとケガの原因になります。
- 23) 電源コードを切断しないように注意してください。
 - ・万一、電源コードを傷付けたり、誤って切断した場合は直ちに差込プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 24) 使用中、機械本体の調子が悪かったり異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用中断し、お買い上げの販売店または弊社営業所に点検、修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用されますとケガの原因になります。

注意

- 1) 発電機や昇電圧装置などは使用しないでください。
 - ・不意に過大な電圧変化が起きることがあり、故障の原因になります。
- 2) 切断終了後、切断面の仕上がり程度を確認してください。また面取りの大きさはパイプメーカーの指示に従ってください。
 - ・必要に応じた後処理を施してください。
- 3) 本体のラベルや銘板をはがしたり、汚すことは絶対にしないでください。
 - ・もし紛失したり、汚れて読めなくなった場合には、お求めの販売店または弊社営業所にご相談ください。
- 4) 使用しないときは、専用ケースに収納し、子供の手の届かないところに保管してください。
- 5) 切断材料は、確実に固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
- 6) 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでダイヤモンドホイールが材料に挟み込まれない様に、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

■各部の名称



■使用目的

- ・主として、塩化ビニル管（VP、VU等）を切断・面取りする電動工具で、手で持って作業します。

■仕様

- ・塩ビ管切断面取り機300（品番：VPB-300）

切断能力	塩化ビニル管 呼び75～300（φ89～318）
面取り能力	角度15° 最大幅30mm
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相交流100V
電流	7.4A
周波数	50～60Hz
消費電力	720W
回転数	12,000min ⁻¹ （回転／分）
質量	4.2kg
寸法（縦×横×高さ）	360×300×163mm

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■標準付属品

- ★ダイヤモンドホイール（DWB-105）…………… 1
- ★ロックナットレンチ…………… 1
- ★収納ケース…………… 1

■切断対象材

- ・VP管（VPW管）、HIVP管（HIVPW管）、VU管などの塩化ビニル管

■作業を始める前に

- ①正しい服装をして下さい。服の袖、裾などが開いたままになっていないか、安全靴、保安帽、手袋、保護メガネ着用など服装の点検を行ってください。
- ②整理、整頓、安定姿勢は安全作業の基本です。不安定な場所や、無理な姿勢での作業は能率を損なうばかりか危険です。安定した足場を確保し、無理のない姿勢で作業できるように、作業場所を整理整頓してください。
- ③工具の各部に損傷はないか、各部のボルトが緩んでないか、正常に作動するかを点検し、もし異常があれば修理、調整を行ってください。

■ダイヤモンドホイールの取り付け・取り外し

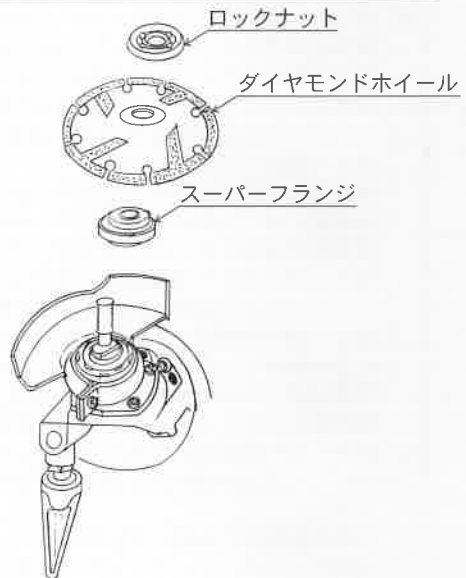
⚠ 警告

- 1) ダイヤモンドホイールの取り付け・取り外しの際は必ずスイッチを切り、差込プラグを電源コンセントから抜いてください。
・差込プラグを電源コンセントにつないだままおこなうと事故の原因になります。

⚠ 注意

- 1) ダイヤモンドホイールを取り付けるときは、本機についている矢印とダイヤモンドホイールについている矢印の方向を合わせてください。
・矢印に合わせないと、ダイヤモンドホイールの回転方向が逆回転となり、刃先を傷めて切れにくくなる原因になります。

- 1) スピンドルを上に向けスーパーフランジのパイロット部を下にしてスピンドルにはめ込んでください。
- 2) 本機についている矢印とダイヤモンドホイールについている矢印の方向を合わせダイヤモンドホイールの内径をスーパーフランジの凹部にはめ込んでください。
- 3) ロックナットのパイロット部（凸部）を上にしてスピンドルにねじ込んでください。
- 4) シャフトロックを押さえながら、ロックナットをロックナットレンチでしっかりと締め付けてください。
- 5) 取り外すときは、取り付け方の逆の要領でおこなってください。



※ダイヤモンドホイールは指定されたもの以外は使用しないでください。

品名	品番
ダイヤモンドホイール	DWB-105

■機械の操作方法

⚠ 警告

- 1) 電源コンセントに差込プラグを差込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
 - ・スイッチを入れたまま差込プラグを差込むと、不意に作動してケガの原因になります。
- 2) スイッチを入れるときは、ダイヤモンドホイールが切断材や他のものに当たっていないことを確認してください。
 - ・機械本体が引き戻されたりしてケガの原因になります。
- 3) 機械本体を作動させたまま床などに置かないでください。
 - ・使用後はスイッチを確実に切って回転が確実に止まってから機械本体を置いてください。

●切断

- ①切断するパイプのあらかじめマーキングされた切断箇所の上へガイド部を乗せます。
 - ・スイッチを入れるときは、右手で本体をしっかり握り、左手でスイッチを操作してください。
- ②スイッチを入れてガイドをパイプに押さえつけながら、パイプにダイヤモンドホイールを切り込みます。
 - ・切断と面取りは右手で本体を左手でガイドの握りをしっかり持って作業してください。
- ③ガイドをパイプにしっかりと押さえつけながら手前に引いて切断してください。
 - ・ガイド主導で手前に引いてください。本体主導で引くと、ガイドがパイプから浮き上がりまっすぐに切断できないことがあります。

(スイッチ操作)



(切断中)



(切り込み)



(切断完了)



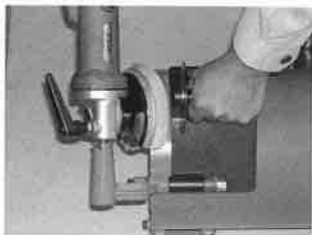
●面取り

- ①切断が終わったら、本体を反時計方向にひねり、ダイヤモンドホイールの角度を15°にしてください。
- ②ガイドをパイプにしっかりと押しえつながら、ダイヤモンドホイールの側面をパイプの端面のカドに当て、手前に引きながら全周の面取りをしてください。
・面取りの大きさはパイプメーカーの指示に従ってください。

(角度転換)

(面取り中)

(面取り完了)



●本体のみでの使用

★本機はガイドを取り外して本体（ディスクグラインダー）のみでも使用できます。

- ①スイッチを切って電源コンセントから差込プラグを抜きます。
- ②レバーを反時計方向に回してゆるめ、本体からシャフトを抜きます。
- ③組み立てるときは、シャフトの凹部とレバーのねじ先端の突起が合うようにレバーをしっかりと締め付けてください。
- ④しっかりと締め付けた後、レバーを引っ張り上げて回転させると、レバーの位置を任意の角度に変更できます。

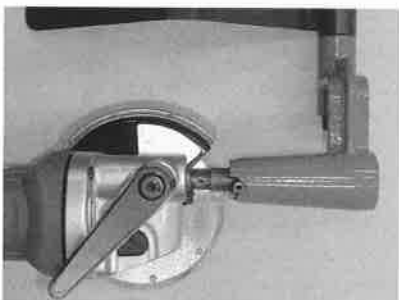
(レバーゆるめ)

(分離)



(シャフトのくぼみ)

(レバー位置変更)



■保守・点検

使用前には、必ず各部に異常がないか点検を行ってください。なお本機が、もし正常に作動しなくなった場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。

⚠ 警告

- 1) 点検・整備の際には必ずスイッチを切って差込プラグを電源コンセントから抜いてください。
・差込プラグを電源コンセントにつないだまま行くと感電や事故の原因になります。

●カーボンブラシの交換

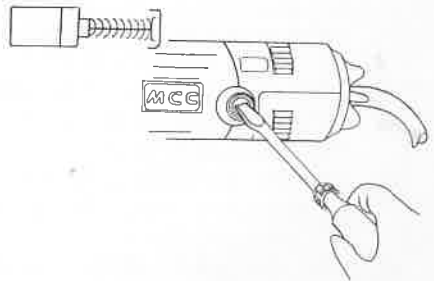
カーボンブラシは定期的に取り外して点検してください。カーボンブラシが限界磨耗線まで磨耗したら新品と取り替えてください。

このときカーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず弊社指定のカーボンブラシをご使用ください。

ネジ回しでブラシホルダキャップを取り外してください。

中から磨耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。

カーボンブラシは2個1組になっています。取り替えるときは、必ず両側とも同時におこなってください。



■保管

電動工具に、湿気は大敵です。作業が終わり保管する場合は、下記のような場所へ保管してください。

- 1) お子様の手が届かないところ。
- 2) 乾燥した涼しいところ。
- 3) 急激な温度変化のないところ。
- 4) 雨や水のかからないところ。

■修理について

本機は厳密な管理の元で製造されていますが、もし、正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店または弊社営業所にご連絡ください。

その他、部品ご入用の場合、もしくは取扱い上ご不明な点、ご質問などございましたら遠慮なくお問い合わせください。

■別販売品

●品名：塩ビ管切断アタッチメントパイプサポート 品番：VPAS300A

- ・塩化ビニル管を上置いて回転させるためのパイプサポートです。
- ・塩ビ管切断面取り機300と併用すると管の切断・面取り作業が楽におこなえ、作業効率があがります。



株式会社 MCCコーポレーション

株式会社 松阪鉄工所

☎ (059) 234-2454

<http://www.mccc corp.co.jp>